

狭山市入間川七夕まつり開催

令和4年度狭山市社会福祉協議会
医療アドバイザー
医療法人 安齋医院
院長 安齋 博雅 先生

一度書いた記事を8月15日に書き直しています。終戦記念日であるこの日、定期的に行っているPCR検査で、私のCOVID-19感染が確認されました。現時点では症状がありませんので、非常にびっくりしています。おそらくこういう方は大勢いると思いますので、全国感染者数〇〇万人などの報道は、氷山の一角でしかないのでしょうか。

話が変わりますが8月6日、7日に「狭山市入間川七夕まつり」が規模縮小で3年ぶりに開催されました。当日、私も七夕飾りを見て歩きましたが、これがまたどうでしょう、非常に歩きやすく飾りが映え、凄く斬新でした。例年であれば露店が立ち並び、歩くのも窮屈で、立ち止まるなどのもつてのほか。それが今年は、飾りの前で写真をとる家族が多く、本来の「飾りを楽しむ」という趣が非常に良かったと思いました。

COVID-19感染拡大中の催しでしたが、地元の子ども達を中心に、楽しんでもらえていたと思います。実行委員会などで関わる方々は手探りでご苦労も多かった事でしょう。ですが、特別感染リスクが高くない屋外イベントに関しては、場面設定に注意しながら普遍的にあってよいのでは？と感じました。

もちろん賛否は当然あるでしょう。ですがもう「自粛！自粛！」の段階ではなく、関りを持つ選択肢は個人に委ねるべきで、祭りや催しのコンテンツ自体に罪はないと感じます。飲食店の一律の時短営業・休業要請に感染抑制効果が無い事と似ています。

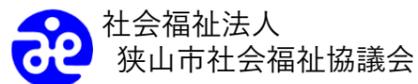
秋以降も種々催しがあるかもしれません。その中で、皆さん自身が参加を決めていきましょう。以前と変わっていないのは自身の健康管理意識です。

さてコロナになった私ですが、元気にこの記事を書いています。今のところ熱も出ず、これからの10日間の療養生活をどう過ごすか？を非常に悩んでいます、復帰したらまた地域のために頑張りたいと思います。



↑3年ぶりに開催された七夕まつりの飾り

お問合せは 狭山市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターまで



Facebookでは狭山市で行われている活動を紹介しています！

Facebook

<http://www.facebook.com/sayama.shakyo/>



〒350-1305 狭山市入間川2-4-13
狭山市社会福祉会館内
TEL.04(2954)0294 FAX.04(2954)4343
E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp
HP <http://www.sayama-shakyou.or.jp>



アマビエこころちゃん

さやま生活支援コーディネーターニュース

14号

発行 狭山市社会福祉協議会
発行日 2022年8月25日

住民の皆さんと生活支援コーディネーターと一緒に作る第2層活動や地域づくりの様子をご紹介します



高校生Yumeプロジェクト、各プロジェクトでの活動が進んでいます！

高校生のやりたい夢を地域の大人が全力で応援する「Yumeプロジェクト」の活動はどんどん進んでいます。

★介護予防のためのカードゲーム作りを行う「ゲームプロジェクト」では、3月と7月に地域の大人の方たちに実際にゲームを体験してもらおう会を開き、感想や意見をもらい、そこからさらに良いカードゲーム作りを目指して、現在改良を進めています。体験会に参加された地域の方からは、「高校生の力に元気づけられた」「このカードゲームを色々な人ができるように、拡げていきたい」などの声があがりました。

★地元のPRのできる映画を作る「映画プロジェクト」では、コロナ禍で苦労しながら、なんとか撮りだめてきた映像の編集に入りました。初めての作業ですが、意見を出しながら切ったりつないだり。全編がつながる日が待ち遠しいです。

★まちに彩りを、高齢者の外出促進、暮らしを便利にを目的に地域のベンチを制作する「ベンチプロジェクト」では、狭山台地区の公民館裏の公園の壊れてしまったベンチの製作に向けて、活動を進めています。狭山台地区の2層みま～も狭山台の方々や株式会社松永塗装工業の方にもご協力いただき、狭山台地区の皆さんに座ってみたいと思ってもらえるようなベンチづくりを目指して、頑張っています。



←ゲーム体験会の様子



←編集作業中



←狭山台地区での打ち合わせ

みんなの農園では、夏野菜を収穫しました！

「みんなの農園プロジェクト」のご報告です。「みんなの農園」は高齢者の介護予防や生きがいづくり、仲間づくりの側面と、もうひとつは「全ての人に居場所と役割を」を目標に、高齢者以外の様々な人も共に活動している住民主体の活動です。

現在、活動を始めて1年以上が経過し、農業ボランティアさんの指導の下、初心者だったメンバーもたくさんの美味しい野菜を育てることができるようになりました。さらに地域貢献活動として、昨年同様、この農園を地域の親子グループや障がいのある子ども達の農業体験の場として活用してもらったり、今年は高校生からの相談を受けて、たい肥作りの場として活用してもらったりしています。

7月から9月は夏野菜の収穫真っ最中です。夏場は野菜の収穫が多く、また熱中症対策として、通常週1回の活動を「農園ミーティング」でメンバーと検討の結果、夏場だけは週2回、すこし涼しい午前中と夕方の活動に変更しています。また、直射日光対策として、パラソルで日陰をつくり休憩箇所とするなど、メンバーの意見を取り入れてそれを形にする「みんなの農園」活動を進めています。



←直射日光を避けて、少し涼しいなかでの収穫です



←夏野菜、色々れています！

